Tencho
&
Camouflage Watch Tencho

mont·bell

テンチョ
&
カモワッチテンチョ

テントとしてもポンチョとしても使用できる
優れた携行性を実現した軽量簡易シェルター

■安全上のご注意

テントをご使用になる前に必ずお読みください。

テント使用上の注意

⚠ テント内やテント近くでは、絶対に火気を使用しないでください。

- ●テントとして使用の際には必ずペグで固定してください。砂地や雪上では状況に応じたペグ等が別途必要です。
- ●キャンプ場やキャンプ許可地以外では使用しないでください。
- ●テント設営地はできるだけ平坦地を選び、危険のない場所を選んでください。
- ●ナイロンは太陽光線による紫外線劣化の影響がありますので、数ヶ月張ったまま放置しますと著しく寿命が縮まります。また、硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。
- ●ベンチレーターや出入口などの換気パネルを常に開け、換気には充分ご注意ください。
- ●付属のペグには鋭利な部分がありますので、取扱いにはご注意ください。
- ●台風や、落雷の時には、キャンプ場の管理担当者の指事に従い、安全な場所に避難してください。
- ●フライシートを張らない場合、フレーム先端が身体に接触すると危険な場合があります。フレーム先端のポール1本は抜き取って折り返し、フレームに付属のS環（ナイロン樹脂製）に固定します。

■アフターケア

間違ったメンテナンスや保管方法はテントの寿命を縮めます。
使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

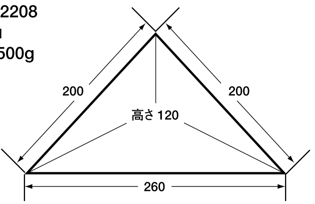
お手入れ方法・保管方法

- ○使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干しして乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置すると色移りやカビの発生する可能性があり、また生地も劣化しやすくなります。
- ○長期の使用により、フライシートやグラウンドシートなどの撥水性能（水を弾く力）が低下した場合は別売のS.R.スプレー等の撥水スプレーをご使用ください。
- ○ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。
- ○ジッパーの動きが固くなりましたら、スムースライダー™やローソクのロウを塗ると回復します。
- ○ポールやペグは汚れを濡れタオルで拭き取った後、機械油を薄く塗っておきます。

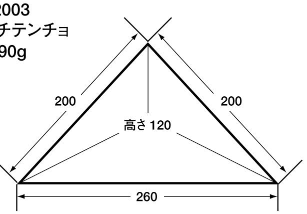
■重量および寸法

図中の単位はcmです。

●#1122208
テンチョ
総重量500g



●#1322003
カモワッチテンチョ
総重量590g



モンベルでは品質管理に万全を期しておりますが、万一不良が生じた場合、お買い求めの販売店を通してご返送ください。無償修理、もしくは交換させていただきます。ただし間違ったご使用や、製品不良以外の原因による故障につきましては有償修理となります。

株式会社モンベル　本　社　〒550-0013 大阪市西区新町1-33-20
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで
Tel. 06-6531-3544　フリーコール：0088-22-0031
モンベルホームページ　http://www.montbell.com

04-637-0510

このたびは＜モンベル・テンチョ＞をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
テンチョは、ポンチョとしてもテントとしてもお使いいただける非常に便利な商品です。普段はポンチョとして着用できますが、お手持ちのストックなどを支柱にすることで簡易シェルターに早変わりします。収納時には大変コンパクトになり、しかも軽量ですので常時ザックの中に忍ばせておけば、万一のビバークの際にも大変重宝します。低山ハイクや日帰り山行での緊急用シェルター、沢登りなどでの簡易テント、そして風雨を遮るポンチョとして、さまざまな状況でご利用いただけます。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みいただき、部品等の確認をして下さい。なお、ご不明な点などがございましたら販売店もしくは弊社＜コンシューマ・サービス＞までお問い合わせ下さい（この説明書は大切に保管して下さい）。

●設営場所の選び方●

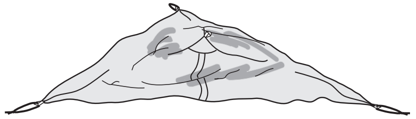
テントを設営される際は周囲の環境、気象条件等を十分に考慮し、安全を確認して下さい。テントの設営地に指定されている場所でも、強風、豪雨等の厳しい自然条件下では、十分な注意が必要です。また、稜線上や大木の付近、広い草原では落雷にも注意して下さい。河原や河岸付近で設営する際には、気象条件等により突然増水することがありますので設営場所には特に注意が必要です。
設営後、気象予報等で風が強くなりそうな情報があれば、石等を積み重ねて周りを囲って防風壁を作って下さい。なお、設営前には出入口は風下側を選んで下さい。

Tencho
&
Camouflage Watch Tencho

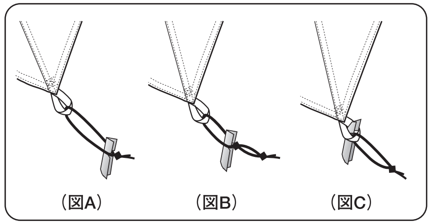
テンチョ設営手順

※テンチョを簡易シェルターとしてご使用いただく際には最大長120cm以上のストック（もしくはそれに変わる支柱）があらかじめ必要となります。また、状況によっては頂点部のループにロープなどを通して吊り下げるように使用することが可能です。

1 スタッフバッグに入った構成部品を全て取り出し、テンチョの出入口が閉じていることを確認し、表側を上にして広げます。風の強い所では、この時テンチョが吹き飛ばされないように十分注意してください。



2 裾の三隅に設けられたループにペグを通してテンチョを固定します。付属のペグが使用できないようなガレ場や砂地では別売のメッシュアンカー（♯1122124）や他のペグを用いて固定してください。



（図A）　（図B）　（図C）

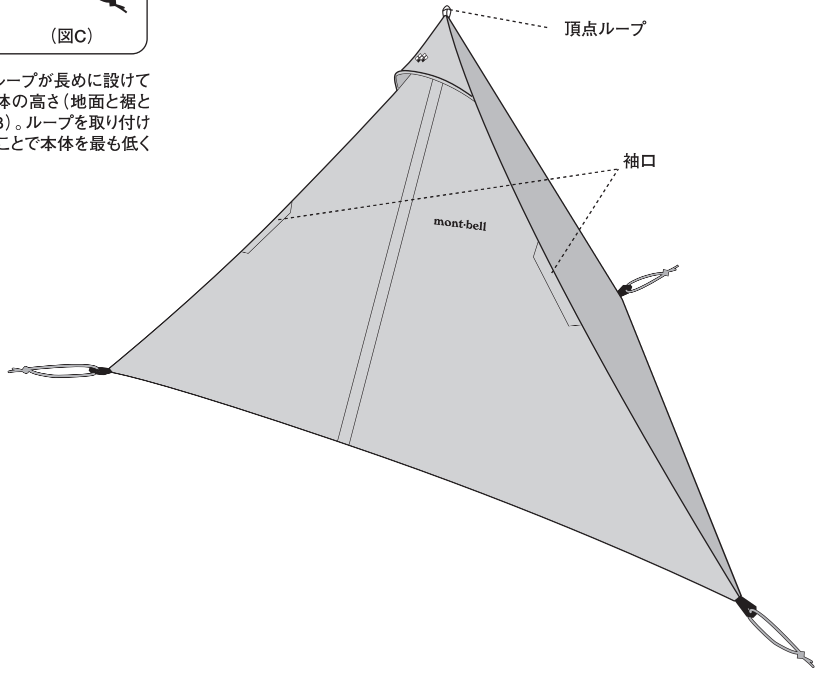
ペグは通常（図A）のように通しますが、ループが長めに設けてあるため、途中に結び目を作ることで本体の高さ（地面と裾とのすき間）を調整することができます（図B）。ループを取り付けてあるナイロンテープに直接ペグを打つことで本体を最も低くすることができます（図C）。

3 テンチョの出入口のファスナーを開放して内側に入ります。この時、支柱となるストックやポールを忘れずに携行してください。次に、内側からファスナーを閉じてください。

4 支柱の先端（※1）をテンチョの頂点部分に当ててテンチョを中から押し上げます。支柱が地面に対して垂直の角度で自立するように注意しながら適度なテンションが掛かるように長さを調整してください。

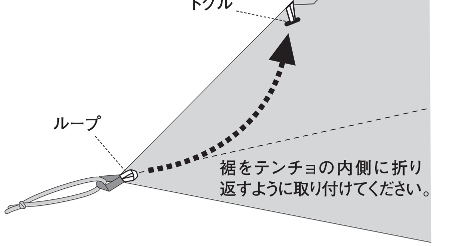
（※1）ストックを使用される場合は、頂点部を保護するために必ずグリップ側を上にしてください。また、先端が鋭利なものを利用される際はキャップを付けるなど生地を保護してください。

5 強風時には頂点ループにお手持ちのロープや細引きなどを通して上から押さえつけるように固定すると耐風性が向上します。
また、頂点ループを利用して、テンチョを樹木の枝などから吊り下げれば支柱を使用せずに設営することができます。



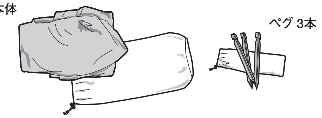
テンチョ着用方法

1 テンチョをかぶり、出入口部分のファスナーを閉じます。次に、前側の裾コーナー内側に設けたループを袖口のトグルに内側からセットし、裾が地面に擦れるのを防ぎます。



2 左右の袖口から手を通します。手を通さないで歩行するとつまずいた時等に手をつくことが出来ず、大変危険ですのでご注意ください。

●部品一覧



●♯1122208　テンチョ
30デニール・ナイロンリップストップ地・
耐水圧1,000mmPUコート

●♯1322003　カモワッチテンチョ
70デニール・ナイロンタフタ地・
耐水圧1,000mmPUコート